

令和5年度第2回大船渡市学校支援活動運営委員会

日 時：令和5年11月15日（水）午前10時

場 所：大船渡市役所 教育委員会会議室

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 協 議

協議第1号 令和5年度大船渡市地域学校協働本部事業の実施状況について

4 そ の 他

5 閉 会

大船渡市学校支援活動運営委員会委員名簿

任期：令和5年6月7日～令和7年3月31日

役職	氏名	区分	所属等	任用
委員長	高橋 多鶴子	学校教育関係者	日頃市小学校長	新任
副委員長	紀室 浩	学識経験者	元末崎小学校教諭	新任
委員	高橋 昭英	学校教育関係者	大船渡中学校副校長	新任
委員	梅澤 聖史	社会教育関係者	末崎小学校 PTA 会長	新任
委員	菅原 優子	家庭教育関係者	前海の星幼稚園園長	新任

協議第1号 令和5年度大船渡市地域学校協働本部事業の実施状況について

令和5年度大船渡市地域学校協働本部事業の実施状況について、大船渡市学校支援活動運営委員会設置要綱第2第2項の規定に基づき、意見を求めます。

令和5年11月15日

大船渡市学校支援活動運営委員会

委員長 高橋 多鶴子

令和5年度家庭教育学級「英語体験教室」事業一覧表

【令和5年10月31日現在】

No.	実施日	学習内容	講師	定員	参加者数	場所
1	6月24日(土) ① 未就学児 9:30~10:30 ② 小学校1~2年生 11:00~正午	英語に触れる活動 (英会話・ゲーム・ 歌・ぬりえ等)	佐藤英会話 ジュリアンアーノット氏 アイリスアバーケズ氏	20組40人 ① 10組20人 ② 10組20人	18組36人 ① 9組18人 ② 9組18人	カメラアホール 多目的ホール
2	11月11日(土) ① 未就学児 9:30~10:30 ② 小学校1~2年生 11:00~正午	英語に触れる活動 (英会話・ゲーム・ 歌・ぬりえ等)	佐藤英会話 ジュリアンアーノット氏 アイリスアバーケズ氏	20組40人 ① 10組20人 ② 10組20人		カメラアホール 多目的ホール

令和5年度家庭教育学級「英語体験教室」アンケート集計結果

【令和5年10月31日現在】

成果指標 (全2回の合計値)	目標	実績	達成率
定員に対する参加率	80.0%	90.0%	112.5%
参加者のうち「新しくやりたいことが見つかった」、「自分でできることがふえた」、「アイデアを考えたり、工夫したりできた」と回答した参加者の割合	50.0%	19.6%	39.1%
「自分から進んで取り組むことができた」、「自分から進んで取り組むことがまあまあできた」と回答した参加者の割合	80.0%	88.9%	111.1%

○ 事業参加者数 36人
○ アンケート回収数 36通 (回収率 100%)
○ 講座ごとの内訳 第1回 参加 18組 36人 (定員 20組 40人)

【総括】

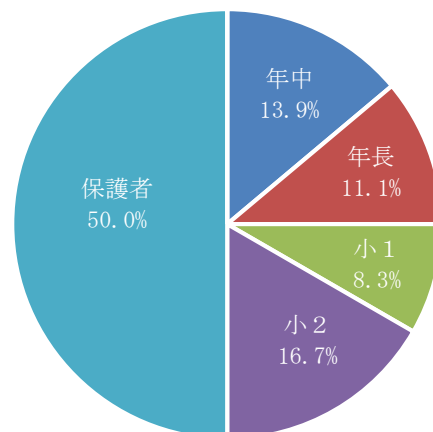
- ・定員に対する参加率は90.0%で、目標の80.0%を上回った。未就学児の申込みは23組と定員を上回る申込みがあり、1組多い11組22人とした。当日は子どもの体調不良等により未就学児及び小学生各々9組18人の参加となったが、市民の学習ニーズに合致した魅力ある教室を実施することができた。

アンケート結果

- ・保護者の参加理由は、「生きた英語を学ぶ良い機会だから」が最も多く、「以前も参加して良い企画だったから」と複数回参加した人や「いろんな友だちと話をしてもらいたいから」と子ども同士の交流を求めた参加者もいた。
- ・子ども、保護者の感想は、「とてもよかった」、「よかった」と回答した参加者が97.3%となり、満足度が高い講座となった。また、「自分から進んで取り組むことができたか」の問いに対し、「できた」、「まあまあできた」と回答した参加者は88.9%と意欲の高さが出た結果となった。
- ・学習前後の変化として、子ども、保護者ともに「思い出ができた」が半数を占めた。次いで「自分でできることが増えた」が多かった。
- ・楽しかった内容は、ゲームやぬりえと回答した子どもが多かった。また、子どもが楽しそうに参加していた内容として最も多かった保護者の回答は、講師が指示した色を室内から探し、その色をタッチするゲームだった。

Q 1 参加者の学年

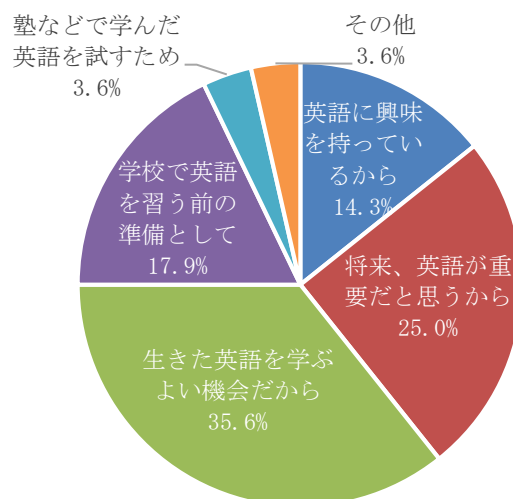
項目	人数	比率
年中	5	13.9%
年長	4	11.1%
小1	3	8.3%
小2	6	16.7%
保護者	18	50.0%
無回答	0	0.0%
計	36	100.0%



子どもの参加者は小学校2年生が最も多く、次いで年中、年長、小学校1年生となった。

Q 2 参加理由（保護者回答）

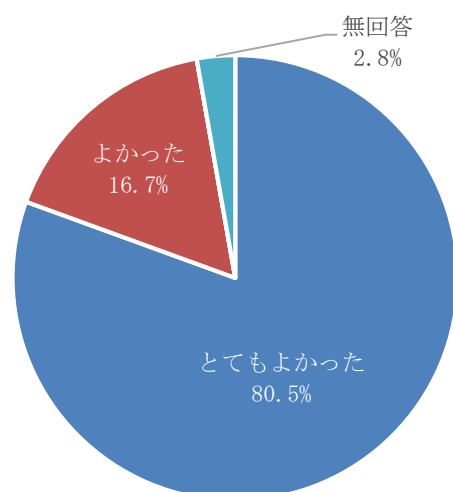
項目	人数	比率
英語に興味を持っていたことから	4	14.3%
将来、英語が重要だと思うから	7	25.0%
生きた英語を学ぶよい機会だから	10	35.6%
学校で英語を習う前の準備として	5	17.9%
塾などで学んだ英語を試すため	1	3.6%
その他	1	3.6%
計	61	100.0%



保護者からの参加理由については、「生きた英語を学ぶ良い機会だから」が最も多く、次いで「将来、英語が重要だと思うから」となった。

Q 3 講座の感想

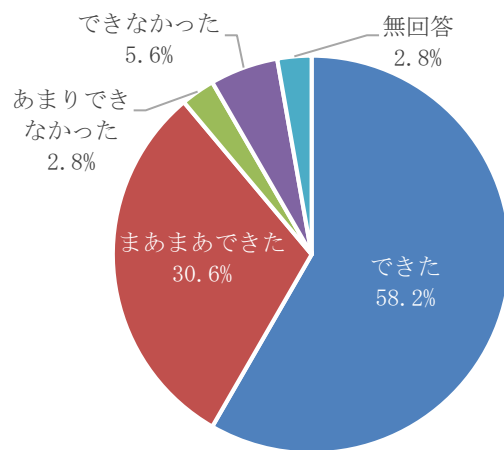
項目	人数	比率
とてもよかった	29	80.5%
よかった	6	16.7%
あまりよくなかった	0	0.0%
よくなかった	0	0.0%
無回答	1	2.8%
計	36	100.0%



参加者から「とても良かった」、「良かった」の回答が多く、満足度が高い結果となった。

Q 4 学習意欲

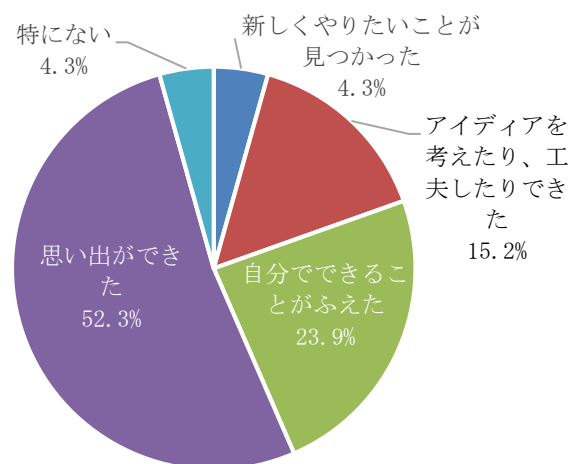
項目	人数	比率
意欲的に取り組むことができた	21	58.2%
意欲的に取り組むことが まあまあできた	11	30.6%
意欲的に取り組むことが あまりできなかった	1	2.8%
意欲的に取り組むことができなかった	2	5.6%
無回答	1	2.8%
計	36	100.0%



「意欲的に取り組むことができた」、「意欲的に取り組むことがまあまあできた」と回答した参加者の割合が 88.9% となり、目標値の 80% を上回った。

Q 5 講座に参加したことによる変化（複数回答可）

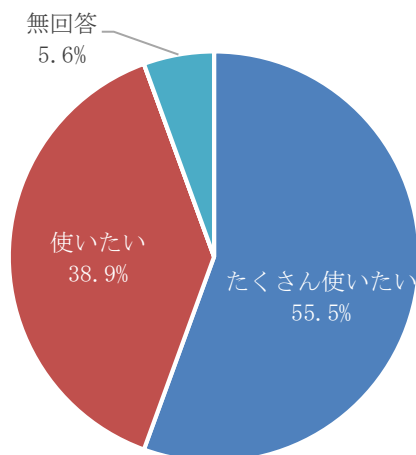
項目	人数	比率
新しくやりたいことが見つかった	2	4.3%
アイデアを考えたり、工夫したりできた	7	15.2%
自分でできることがふえた	11	23.9%
思い出ができた	24	52.3%
特にない	2	4.3%
計	46	100.0%



「思い出ができた」が半数を占め、次いで「自分でできることがふえた」となった。「新しくやりたいことが見つかった」「アイデアを考えたり、工夫したりできた」については、時代を生き抜くための創造力や自主性の育成に必要な要素となっている。

Q 6 英語の使用（子ども回答）

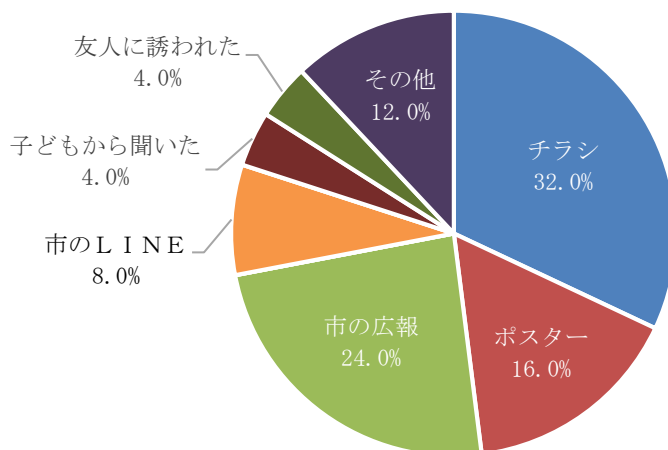
項目	人数	比率
たくさん使いたい	10	55.5%
使いたい	7	38.9%
あまり使いたくない	0	0.0%
使いたくない	0	0.0%
無回答	1	5.6%
計	18	100.0%



「たくさん使いたい」「使いたい」と回答した人の割合が 94.4% となり、英語に対する興味の表れと考えられる。

Q 7 講座を何で知ったか(複数回答可)

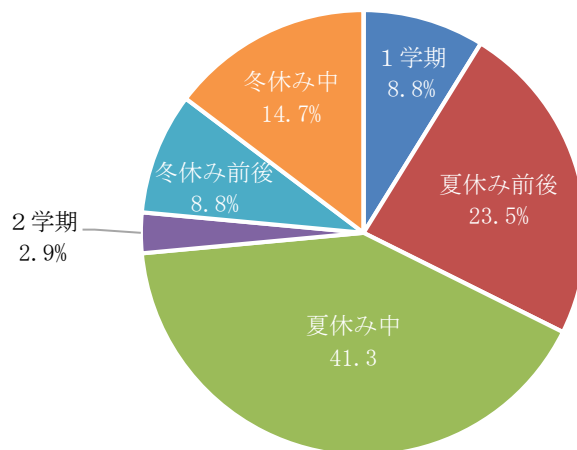
項目	人数	比率
チラシ	8	32.0%
ポスター	4	16.0%
市の広報	6	24.0%
市のホームページ	0	0.0%
市のX (旧Twitter) ・Facebook	0	0.0%
市のLINE	2	8.0%
新聞	0	0.0%
子どもから聞いた	1	4.0%
友人に誘われた	1	4.0%
その他	3	12.0%
計	23	100.0%



市内の小中学校を通じて、対象園児児童全員にチラシを配布した効果が大きい。次年度以降も引き続き進めていきたい。

Q 8 講座に参加しやすい時期(複数回答可)

項目	人数	比率
1学期	3	8.8%
夏休み前後	8	23.5%
夏休み中	14	41.3%
2学期	1	2.9%
冬休み前後	3	8.8%
冬休み中	5	14.7%
3学期	0	0.0%
計	34	100.0%



半数以上が「夏休み中」や「冬休み中」の長期休み中を希望している。

Q 9 自由記載欄 抜粋 (保護者からの回答も含む)

(1) 子ども

- ・英語楽しい！！ [年中、小1、小2 (2人)]
- ・もっと英語で遊びたい。ゲームしたい。(年中)
- ・またやりたいです。(年中)
- ・英語の歌を歌って遊びたいです。(年中)
- ・とても楽しかった。色を覚えられた。英語を使えて良かった。(年中)
- ・もっと遊びたかった。(年長)
- ・単語の学習をしたビーチボールの絵が描いてありました。(年長)
- ・色塗りができて良かったです。少し恥ずかしかったです。(小1)
- ・英語を習えてうれしかった。(小1)
- ・次やりたいこと。ダンス (はげしい)、塗り絵 (手作り3枚)、〇〇を食べる (食べ物の名前を覚えながら)、スタンプラリー、おさんぽ。(小2)
- ・また〇×ゲームをやりたいです。楽しかったです。(小2)
- ・楽しかった。またやって (当たったら) またやりたい。これからも続けてほしい!!がんばってください!! (小2)
- ・HAPPY (小2)

(2) 保護者

- ・交流したい。(年中保護者)
- ・日頃から少しずつ英語に触れたい。(年中保護者)
- ・全体の前での発表などは難しいと思っていましたが、一人ひとりの活動をしてもらえたので、本人も緊張せずに楽しめました。ありがとうございました。(年中保護者)
- ・日常生活にも取り入れていきたい。(年長保護者)
- ・もっと英語を学ばせたいと思いました。(年長保護者)
- ・英語に触れる機会がないので、良い体験ができました。学校の授業でもスムーズに習うことができると思います。(小1保護者)
- ・思った以上に楽しそうに積極的に参加していました。去年より大きな声で発声できていました。(小1保護者)
- ・少し恥ずかしがっていたので、自信を持たせるため、もっと英語に触れる機会を増やしたいです。(小2保護者)
- ・話できないまま終わるかなあ…としましたが、先生にアイスの種類を言っていたので、少しは打ち解けたかなと思いました。ありがとうございました。(小2保護者)
- ・他言語の子供向けイベントもあれば参加してみたいです。(小2保護者)
- ・先生や他の参加者の方と触れ合いながら英語を楽しめて良かったです。科学教室など一緒にやってみたいです。(小2保護者)
- ・ありがとうございました！ (小2保護者)

令和5年度家庭教育学級（英語スクール）「第1回英語体験教室」講座写真



令和5年度家庭教育学級実施状況一覧表（令和5年10月31日現在）

学校名等	実施期日	時間	実施場所	学習内容	講師	参加者数	アンケート対象数	アンケート回収数	アンケート回収率	備考	
こども園・保育園・幼稚園	盛こども園	7月28日（金）	10:00～11:30	盛こども園	親子でダンス	STUDIO LINK 刈谷 雅 氏 外3人	42人	21人	17件	81.0%	
	海の星幼稚園	未定									
	蛸ノ浦保育園	6月24日（土）	10:00～10:45	蛸ノ浦保育園	食育講話 『『食べない』を『食べてみよう』へ』	大船渡市保健福祉部健康推進課 栄養士 熊谷 莉萌 氏	30人	30人	16人	53.3%	
	吉浜こども園	6月29日（木）	10:10～11:00	吉浜こども園	講話「おなかげんききょうしつ」	大船渡市保健福祉部子ども課 主任栄養士 刈谷 久美子 氏 大船渡ヤクルト販売株式会社 健康応援プロジェクトチーム 木下 理映 氏	33人	16人	16件	100.0%	
一 中 学 区	盛小学校	12月1日（金）	14:20～15:10	盛小学校	今日からできる食料備蓄	防災士 新沼 真弓 氏					令和6年度実施対象校
	猪川小学校	未定									
	日頃市小学校	11月24日（火）	15:40～16:20	日頃市小学校	ストレッチでけがをしない身体づくり	大船渡バレエ教室 中村 愛 氏					令和6年度実施対象校
	越喜来小学校	11月24日（火）	14:35～15:40	越喜来小学校	健康講話	大船渡市国民健康保険歯科診療所 所長 熊谷 優志 氏					
大 中 学 区	大船渡小学校	8月31日（木）	18:30～20:00	大船渡中学校	ペアレンタルコントロール実習	一般社団法人トナリノ 山本 健太 氏外5人	35人	35人	33人	94.3%	令和7年度実施対象校
	大船渡北小学校										
	☆大船渡中学校										
☆=合同開催事務局							140人	102件	82件		
									アンケート回収率	73.1%	

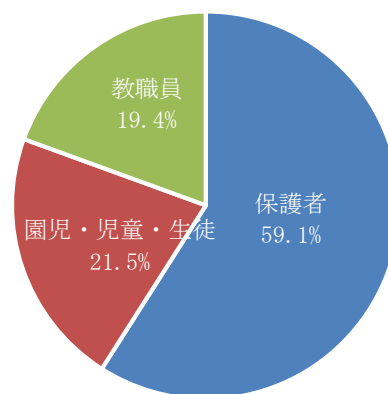
令和5年度家庭教育学級アンケート集計結果

【令和5年10月31日現在】

- 実施箇所 市内こども園・保育園・小学校 4カ所（実施状況一覧のとおり）
- 参加人数 144人（うち保護者85人）
- アンケート回収数 49件（回収率73.1%）

成果指標	目標	実績	達成率
学習内容の満足度	80.0%	100.0%	125.0%
1カ所あたりの前年度比参加人数 R4：56.5人 (452人/8カ所)	前年度比同数以上	36.0人 (144人/4カ所)	63.7%
学習内容の家庭の取組意欲	80.0%	96.3%	120.4%
学習内容の理解度	80.0%	97.6%	122.0%

参加者内訳	年代	人数	比率
	保護者	85	59.1%
	園児・児童・生徒	31	21.5%
	教職員	28	19.4%
	地域関係者	0	0.0%
	計	144	100.0%



【総括】

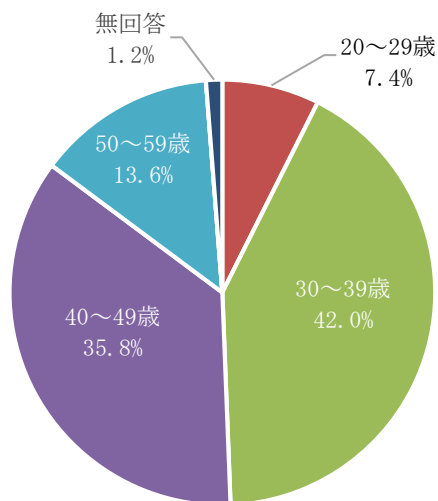
- ・令和4年度から、保育園・こども園と同様に、小・中学校においても3年に1回の実施とした。
- ・当初予定していなかった小学校2校及び中学校区1区からの実施希望もあり、予算の執行状況を確認しながら、実施することとした。これまで、学校間の日程調整や新型コロナウイルス感染症、学校スケジュール等の影響により、実施できないことがあったが、今後もできる範囲の中で実施に向けて対応を進める。
- ・1カ所あたりの参加人数は36.0人であり、昨年度の数値より低くなったが、対象参加人数が少なかったためと考えられる。

アンケート結果

- ・学習内容の満足度、取組意欲及び理解度は、いずれも目標を上回った。
- ・保育園・こども園で実施した食育や防災学習、小中学校で実施したインターネットや子どもによるスマートフォン等の情報通信機器の利用を親が監視して制限する取組（ペアレンタルコントロール）の学習は、家庭での取組意欲に繋がった。

Q 1 参加者の年齢

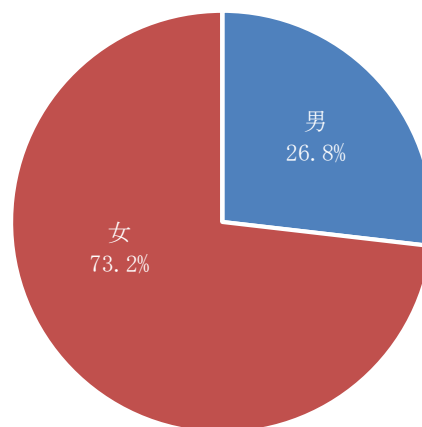
年代	人数	比率
20歳未満	0	0.0%
20～29歳	6	7.4%
30～39歳	34	42.0%
40～49歳	29	35.8%
50～59歳	11	13.6%
60歳以上	0	0.0%
無回答	1	1.2%
計	81	100.0%



保護者を対象とする講座がほとんどのため、30～40代の参加が多かった。

Q 2 参加者の性別

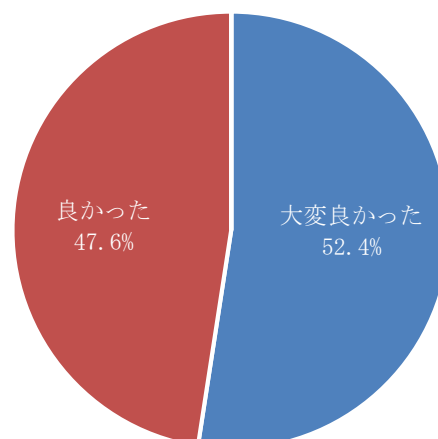
性別	人数	比率
男	22	26.8%
女	60	73.2%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	82	100.0%



参加者の多くは女性であり、例年同様、男性の参加が少ない状態である。

Q 3 学級に参加した感想（満足度）

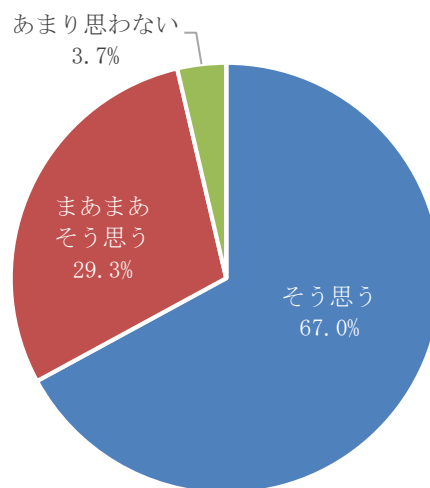
評価	人数	比率
大変良かった	43	67.1%
良かった	39	29.3%
やや良くなかった	0	3.7%
良くなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	82	100.0%



「大変良かった」、「良かった」と答えた参加者の割合は100.0%となった。

Q 4 学習内容への取組意欲

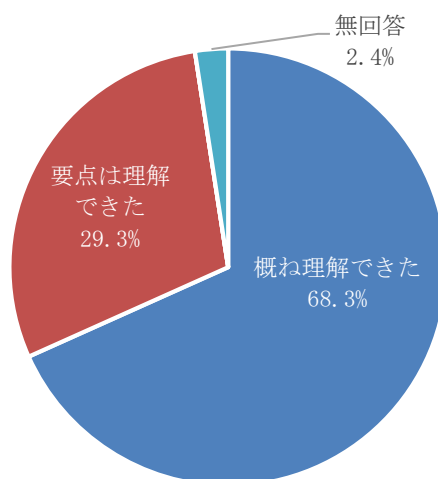
取組意欲	人数	比率
そう思う	55	67.0%
まあまあそう思う	24	29.3%
あまり思わない	3	3.7%
思わない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	82	100.0%



今回の学習内容について、96.3%の参加者が家庭で取り組む意欲があると回答している。今後も学習成果を生活の中で生かせるような内容を提供できるように努める。

Q 5 内容の理解度

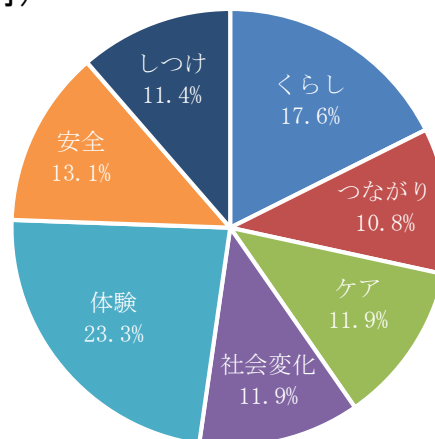
理解度	人数	比率
概ね理解できた	56	68.3%
要点は理解できた	24	29.3%
よく理解できなかった	0	0.0%
全く理解できなかった	0	0.0%
無回答	2	2.4%
計	82	100.0%



97.6%の参加者が学習内容を理解できたと回答している。今後も学習内容の質と参加のしやすきの両立に配慮しながら、事業を企画・実施していく。

Q 6 家庭教育学級で希望するテーマ（複数回答可）

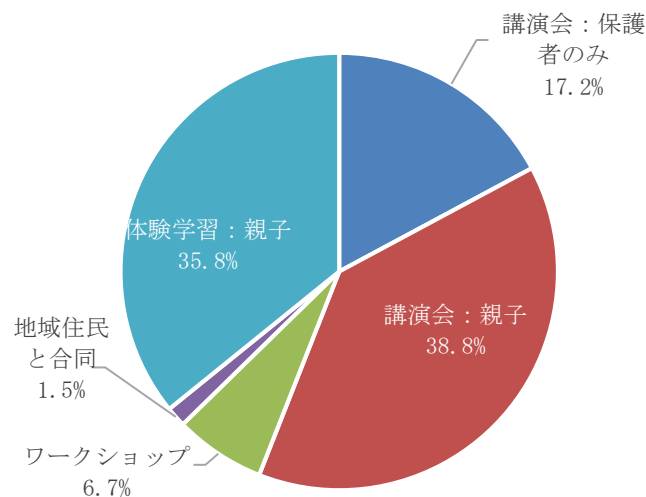
希望テーマ	人数	比率
暮らし	31	17.6%
つながり	19	10.8%
ケア	21	11.9%
社会変化	21	11.9%
体験	41	23.3%
安全	23	13.1%
しつけ	20	11.4%
計	176	100.0%



生活習慣や健康管理等の暮らし、スマホやSNS等の社会変化、いじめや不登校等のケア、スポーツや文化等の体験をテーマにした内容を希望する声が多い。

Q 7 家庭教育学級で希望する学習形態

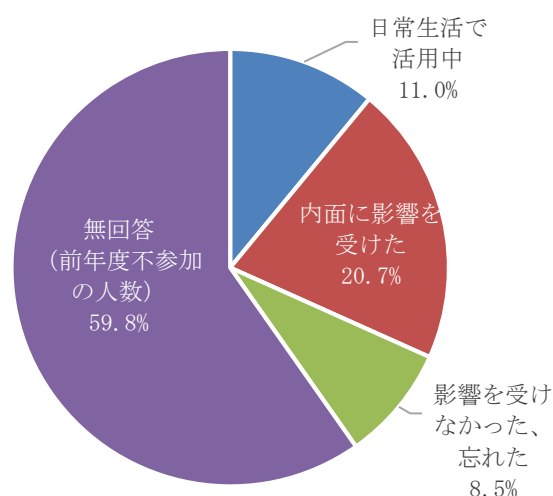
学習形態	人数	比率
講演会：保護者のみ	23	17.2%
講演会：親子	52	38.8%
ワークショップ	9	6.7%
地域住民と合同	2	1.5%
体験学習：親子	48	35.8%
計	134	100.0%



講演会や体験学習等親子での学習形態を希望する方が 88.3%と多くなっている。

Q 8 学習内容の生活への影響度

影響	人数	比率
日常生活で活用中	9	11.0%
内面に影響を受けた	17	20.7%
影響を受けなかった、忘れた	7	8.5%
無回答(前年度不参加の人数)	49	59.8%
計	82	100.0%



無回答(前年度不参加の人数)を除くと、多くの方が「内面に影響を受けた」と回答している。

Q 9 自由記載(抜粋)

(1) 親子でダンス

- ・今日みたいに若者がやっている活動で若者が発信したいと思っていることと家庭教育学級とが合致すれば良いと思う。
- ・親子で参加できる機会がほとんどない園生活だったので、今回一緒にダンスができて良かった。
- ・自分自身も踊る機会もなかったし、子どもと一緒に参加できて良かった。
- ・子どもと一緒に楽しめました。
- ・楽しかったです。

(2) 食育講話

- ・分かりやすく、スライドも見やすく良かったです。子どもにも聞かせてあげたいと思いました。ありがとうございました。

- ・遊び食べもしますが、できるだけポジティブに捉え、少しでも食べられたり、自分で口に運べたりしたタイミングでほめるように関わっています。これで良いのか…？と思いながら関わってきましたが、今日の講演を聞いて、食べる力ややる気を伸ばしていけることが分かったので、自信が持てました。
- ・食への不安を解消できた。
- ・忙しい時間、とても勉強になりました。ありがとうございました！
- ・食べることに興味を持てるように、一緒に料理をしたり、お手伝いをしてもらったり、子どもとの時間を作っていきたいと思います。また、苦手な食材の特徴が分かったので、工夫して食事を作りたいと思います。
- ・食に関してはいつも悩んでいます。少しずつでも食べてくれるよう頑張ります。
- ・家庭での遊びについても知りたいです。(特に祖父母)

(3) おなかげんききょうしつ

- ・自宅でも実践できそうな内容を教えてもらったので良かったです。
- ・座学だけでなくアニメや体を動かしたり楽しかったです。ありがとうございました。
- ・内容が少し大人向けで長めでした。大人は勉強になりました。
- ・久しぶりの子供と一緒に参加出来てよかったです。ありがとうございました。
- ・子供には難しいところもあったが、アニメや体操などで興味が持てるようにされて良かった。

(4) ペアレンタルコントロール実習

- ・わからない部分を丁寧に教えていただきとてもわかりやすかった。
- ・簡単でとても分かりやすい講習だった。引続き行っていてもらいたい。
- ・実技があるのがよかった。
- ・前年度、不参加でした。子供も成人してしまいました。孫ができれば取り組んでいきたいです。
- ・講師の方の説明が分かりやすかったので、子供にも一緒に聞いてほしいと思った。(前半部、ペアレンタルコントロール以外)
- ・親自身もスマホの使い方を考えるキッカケになり子供と一緒に会話を大切にしながら使用して行きたいと思いました。ありがとうございました。
- ・初めて家庭教育学級に参加しました。身につまされるようなお話しもあり、直したいなと思うことが多々ありました。子供と一緒に自分も成長していけたらと思う今日この頃です…。
- ・ファミリーリンク
- ・体講演の中にあつた GIGA スクール構想に関わる話は、とらえが不十分でした。部分的な情報にとどまらないようお願いいたします。
- ・大変丁寧な説明で分かりやすかったです。ありがとうございました。
- ・日常の自分の行動を反省する事がたくさんありました。便利なものだけど、凶器になる事、理解はしていたけど、改めて家庭でも話したいと思います。今日はありがとうございました。
- ・大変参考になりました。

令和5年度 家庭教育学級講座写真

蛸ノ浦保育園



吉浜こども園



盛こども園



大船渡中学校区



令和5年度青少年体験学習事業事業一覧表

【令和5年10月31日現在】

No.	実施日	学習内容	講師	定員	参加者数	場所
1	7月1日(土) ①10:00～ ②13:00～	ステンドグラス 制作体験教室	アトリエガラス 鈴木 摩耶子 氏 鈴木 道也 氏	10組 20人 ① 午前: 5組 10人 ② 午後: 5組 10人	9組 19人 ① 午前: 5組 10人 ② 午後: 4組 9人	三陸 公民館
2	12月10日(日) ① 9:30～ ②13:30～	ドローン プログラミング 体験教室	岩手ドローン スクール 鈴木 良隆 氏 懸田 美里 氏	16組 32人 ① 午前: 8組 16人 ② 午後: 8組 16人	申込締切日 11月20日(月)	カメラア ホール

令和5年度青少年体験学習事業アンケート集計結果

【令和5年10月31日現在】

成果指標(全2回の合計値)	目標	実績	達成率
定員に対する参加率	80.0%	95.0%	118.8%
参加者のうち「新しくやりたいことがみつかった」「自分でできることがふえた」「アイデアを考えたり、工夫」と回答した参加者の割合	50.0%	43.4%	105.6%
「自分から進んで取り組むことができた」「自分から進んで取り組むことがまあまあできた」と回答した参加者の割合	80.0%	94.7%	118.4%

○ 事業参加者数 19人
○ アンケート回収数 19通
(回収率 100%)

【総括】

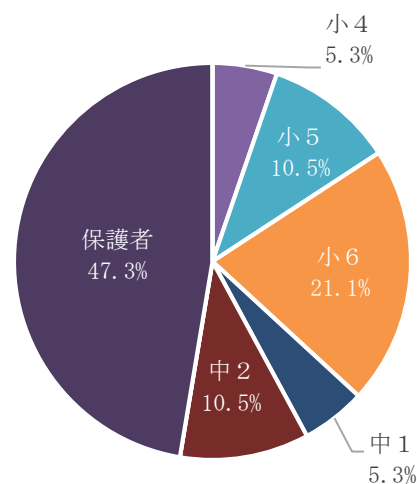
- ・定員に対する参加率は95.0%で、目標の80.0%を上回った。令和5年度から始まった講座であるが、募集定員を上回る申込みがあり、市民の学習ニーズに合致した魅力ある教室を実施することができた。

アンケート結果

- ・参加者の感想は、「とてもよかった」との回答が100%となり、参加者全員が満足した講座となった。
- ・子どもへの「自分から進んで取り組むことができたか」、保護者への「子どもが意欲的に取り組むことができたか」の問いに対し、「できた」、「まあまあできた」と回答した人は94.7%となり、意欲の高さが出た結果となった。また、学校や家庭では体験できない分野の体験機会を提供できた。
- ・学習前後の変化として、「思い出ができた」が多かったが、「アイデアを考えたり工夫したりできた」との回答も25.0%となった。「普段できないことをしたりして、ステンドグラスを作ることができたし、楽しかったのでよかった」(子ども)、「ステンドグラスが好きなので、行程を知ることができて嬉しかった」(保護者)等「参加してよかった」との感想が多く寄せられた。

Q 1 参加者の学年

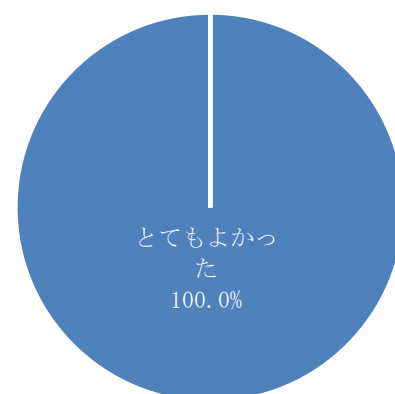
項目	ステンドグラス	比率
小1～小3	0	0.0%
小4	1	5.3%
小5	2	10.5%
小6	4	21.1%
中1	1	5.3%
中2	2	10.5%
中3	0	0.0%
保護者	9	47.3%
無回答	0	0.0%
計	19	100.0%



小中学生及び保護者を対象に参加者の募集を行ったが、参加者の多くは小学生高学年となったが、中学生は昨年度より2人増えて3人となった。引き続き中学生の学習ニーズと合致した体験学習も併せて提供できるよう努めたい。

Q 2 講座の感想

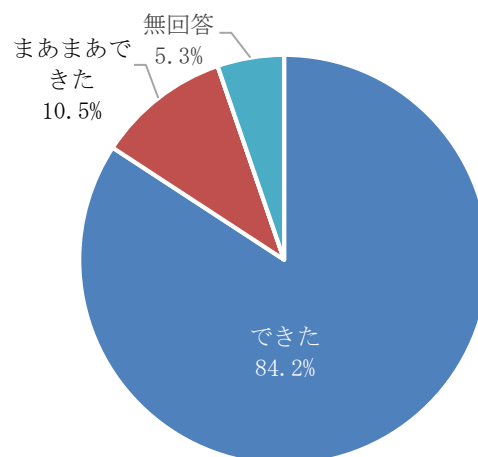
項目	ステンドグラス	比率
とてもよかった	19	100.0%
よかった	0	0.0%
あまりよくなかった	0	0.0%
よくなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	19	100.0%



参加者全員が「とてもよかった」と回答しており、満足度が高い結果となった。来年度以降も同様の成果が出せるよう学習内容を検討したい。

Q 3 学習意欲

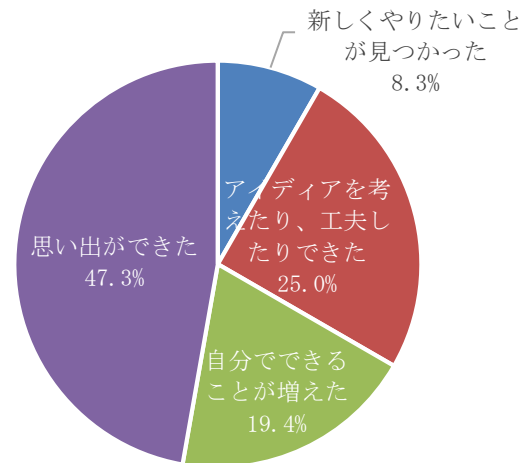
項目	ステンドグラス	比率
意欲的に取り組むことができた	16	84.2%
意欲的に取り組むことがまあまあできた	2	10.5%
意欲的に取り組むことがあまりできなかった	0	0.0%
意欲的に取り組むことができなかった	0	0.0%
無回答	1	5.3%
計	19	100.0%



「意欲的に取り組むことができた」「意欲的に取り組むことがまあまあできた」と回答した参加者の割合が94.7%となり、目標値である80%を上回ることができた。

Q 4 講座に参加したことによる変化（複数回答可）

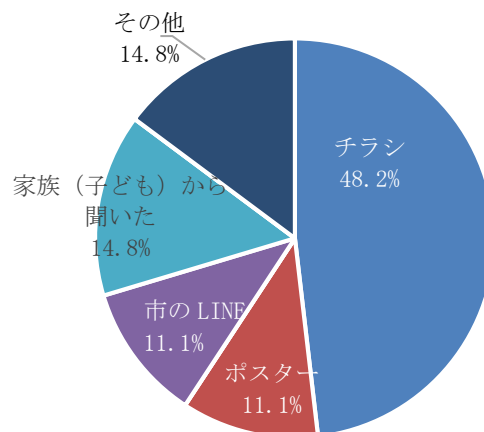
項目	ステンドグラス	比率
新しくやりたいことが見つかった	3	8.3%
アイデアを考えたり、工夫したりできた	9	25.0%
自分でできることがふえた	7	19.4%
思い出ができた	17	47.3%
特にない	0	0.0%
計	36	100.0%



最も高い項目は「思い出ができた」であったが、「アイデアを考えたり、工夫したりできた」「自分でできることがふえた」と続いた。これからの時代を生き抜くための創造力や自主性の育成に必要な要素となるが、それらの項目を一定数の参加者が選択したことは、本事業の成果が表れたものと考えられる。

Q 5 講座を何で知ったか（複数回答可）

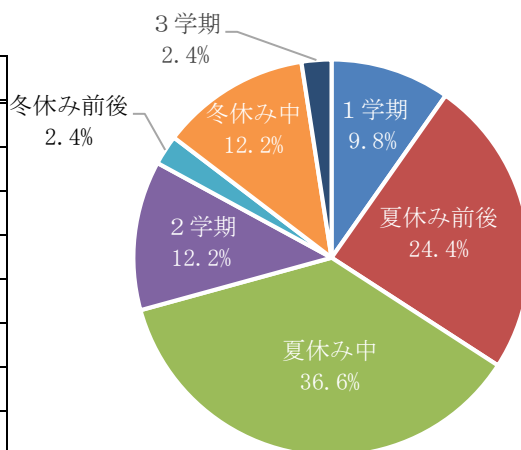
項目	ステンドグラス	比率
チラシ	13	48.2%
ポスター	3	11.1%
市の広報紙・ホームページ・市のX（旧 Twitter）・Facebook	0	0.0%
市のLINE	3	11.1%
新聞	0	0.0%
家族（子ども）から聞いた	4	14.8%
友人に誘われた	0	0.0%
その他	4	14.8%
計	23	100.0%



市内の小中学校を通じて、対象児童生徒全員にチラシを配布した。多くの参加者が「チラシ」を見ての応募であった。また、LINEで知った人もいることから、SNSによる情報発信についても精査していきたい。

Q 6 講座に参加しやすい時期（複数回答可）

項目	ステンドグラス	比率
1学期	4	9.8%
夏休み前後	10	24.4%
夏休み中	15	36.6%
2学期	5	12.2%
冬休み前後	1	2.4%
冬休み中	5	12.2%
3学期	1	2.4%
計	41	100.0%



半数以上が「夏休み中」や「冬休み中」の長期休み中を希望している。実施時期や学習内容などの調査結果を踏まえて、計画の立案に努めたい。

Q 7 自由記載欄 抜粋 (保護者からの回答も含む)

(1) 子ども

- ・ステンドグラス作りができて良かった。楽しかった。(小4)
- ・楽しかった。(小5)
- ・カレンダーを作りたい。(小5)
- ・とても楽しかったです。良い思い出になりました。(小6)
- ・とてもよくできたので良かった。(小6)
- ・難しかったけど、うまくできて良かったです。(小6)
- ・とても楽しかったので、また参加したい。(小6)
- ・スマホにつけるストラップみたいなを作りたい。(中1)
- ・普段できないことをしたりして、ステンドグラスを作ることができたとし、楽しかったので、良かったです。(中2)
- ・珍しいことができたし、楽しかった。このような物作りをすることがあればまたやりたい。(中2)

(2) 保護者

- ・自身がステンドグラスが好きなので、行程を知れて嬉しかった。本人も意欲的に取り組み楽しんでいて、親子の良い時間となった。(小4保護者)
- ・日頃、体験できないことをできて良かったです。親子のコミュニケーションにもなるし、いつもゲームばかりになっているお休みの日に、このようなすばらしい時間の使い方ができて嬉しいです。(小5保護者)
- ・工作が好きなので、とても楽しそうに取り組んでいた。(ほかにやりたいこととして) 田植え。イモ掘り。(小5保護者)
- ・普段できない貴重な体験ができました。またやってみたいと話していました。本日はありがとうございました。(小6保護者)
- ・ていねいに教えていただき、分かりやすかったです。作品もきれいにできて良かったです。ありがとうございました。(小6保護者)
- ・普段から思いつきで作業するところが今日も出ていたようで、難しい作業もパパッと決めて作っているところが面白かったです。ていねいに教えていただき、貴重な体験をありがとうございました。(小6保護者)
- ・はじめてはんだごてを使えて楽しかったです。(小6保護者)
- ・ステンドグラス制作、はんだ付けが難しかったけど、楽しく制作できました。(中1保護者)
- ・パパッと決める妹と違い、先生の話聞きつつ、慎重にやっているようでした。ていねいに教えていただき、不器用ながらも上手に出来上がりました。楽しい時間をありがとうございました。(中2保護者)

令和5年度青少年体験学習事業「ステンドグラス制作体験教室」講座写真



○令和5年度スクールガード配置事業実施状況

スクールガード：11校に38人配置

- ① 引率型：盛小4人、大船渡小4人、末崎小2人、大船渡北小3人、綾里小3人、吉浜小10人
- ② 通学路巡回型：末崎小1人、赤崎小1人、猪川小1人、立根小2人、日頃市小3人、大船渡中3人
- ③ スクールバス添乗型：赤崎小1人

	配置校数	活動人数	活動日数	合計活動時間	月平均活動時間
4月	10校	32人	3～17日	504時間15分	15時間45分/人
5月	10校	31人	3～20日	620時間00分	20時間00分/人
6月	10校	27人	6～22日	668時間30分	24時間45分/人
7月	10校	26人	2～18日	449時間00分	17時間16分/人
8月	10校	29人	1～10日	318時間00分	10時間58分/人
9月	10校	32人	1～20日	629時間30分	19時間41分/人
計				3189時間15分	18時間5分/人

〔取組状況〕

- ・児童生徒の登下校時の安全を確保するため、市内小学校10校と中学校1校（計11校）にスクールガード38人を配置した。
- ・各校の状況に応じ、引率型、巡回型、スクールバス添乗型により実施した。

〔今後の取組〕

- ・大船渡北小学校からスクールガード募集の希望があり、市広報紙（11月号）により下記のとおり募集し、新たな人材確保を図る。

小学校区	内容	人数	備考
大船渡北小学校区	登下校の引率	2人	<ul style="list-style-type: none"> ・朝・夕それぞれ1時間程度 ※朝・夕方のどちらかだけでも可 ・朝：午前7時10分～ ・夕方：午後2時10分～、午後3時～ ※曜日に応じて ・場所：大船渡北小学校校門前横断歩道 大船渡北小学校前の坂の下の道路付近 ・年齢：18歳～65歳位までの方（学生不可）

- ・標記事業の状況を把握するため、スクールガード及びスクールガード配置校の保護者を対象としたアンケート調査を実施。（令和5年1月予定）

※ 内容：スクールガードの認知度、継続について、登下校の安全が保たれているか等

○令和5年度学校支援事業実施状況

地域コーディネーター：11校に9人配置、生涯学習課に1人配置

配置校：盛小、大船渡小、末崎小、赤崎小、立根小、日頃市小、大船渡北小、綾里小、
越喜来小、吉浜小、東朋中

※ 複数校を兼務する地域コーディネーターがいるため、総数と異なる

【配置校】

	配置校数	活動人数	活動日数	合計活動時間	月平均活動時間
4月	10校	3人	1日	2時間45分	0時間55分/人
5月	10校	5人	1～4日	7時間15分	1時間27分/人
6月	10校	5人	1～5日	12時間30分	2時間30分/人
7月	11校	3人	1～5日	7時間00分	2時間20分/人
8月	11校	5人	1～4日	7時間00分	1時間24分/人
9月	11校	5人	1～7日	26時間45分	5時間21分/人
計				63時間15分	2時間22分/人

〔取組状況〕

- ・学校の授業（料理、ミシン、水生生物調査、畑作業等）に係るボランティアの募集。授業に向けて、ボランティア及び学校との打合せ。
- ・地域コーディネーター自身が、学校の総合学習において復興教育、地域おこし、昔遊び等の講師を務める。
- ・学校創立150周年記念に係る資料作成及び打合せ。
- ・市内小学校全11校に地域コーディネーターが配置されたが、市内中学校においては、全4校の内1校の配置に留まっている。

〔今後の取組〕

- ・令和5年11月8日（水）に、別紙概要のとおり地域コーディネーター交流会を開催。
※ 概要26P
- ・交流会の参加者を対象にアンケート調査を実施する。
※ 内容：今後の活動に生かせるか、今後の交流会の開催頻度等

【生涯学習課】

	配置人数	活動人数	活動日数	合計活動時間	月平均活動時間
4月	1人	1人	1日	3時間30分	3時間30分/人
5月	1人	0人	0日	0時間00分	0時間00分/人
6月	1人	1人	2日	6時間00分	6時間00分/人
7月	1人	0人	0日	0時間00分	0時間00分/人
8月	1人	0人	0日	0時間00分	0時間00分/人
9月	1人	0人	0日	0時間00分	0時間00分/人
計				9時間30分	1時間35分/人

〔取組状況〕

- ・図書支援活動地域ボランティアの活動時間の調整を行った。
- ・図書支援活動地域ボランティア配置校における前期分の図書修繕用消耗品購入希望の取りまとめ及び消耗品の選定を行い、発注した。

〔今後の取組〕

- ・引き続き、図書支援活動地域ボランティアの活動時間の調整を行う。
- ・後期分の図書修繕用消耗品購入希望の取りまとめ及び消耗品の選定を行い、発注する。

地域ボランティア：15人

① 図書支援活動地域ボランティア：14校に14人配置

配置校：盛小1人、大船渡小2人、赤崎小2人、猪川小4人、立根小2人、
日頃市小1人、大船渡北小4人、綾里小3人、越喜来小2人、吉浜小1人、
第一中4人、大船渡中4人、末崎中3人、東朋中2人

※ 複数校兼務するボランティアがいるため、総数と異なる

	配置校数	活動人数	活動日数	合計活動時間	月平均活動時間
4月	13校	11人	1～14日	237時間45分	21時間37分/人
5月	13校	12人	1～15日	259時間00分	21時間35分/人
6月	13校	13人	1～12日	306時間15分	23時間33分/人
7月	13校	13人	1～5日	274時間45分	21時間8分/人
8月	14校	13人	1～12日	213時間00分	16時間23分/人
9月	14校	13人	1～7日	311時間30分	23時間58分/人
計				1602時間15分	21時間23分/人

② 金管支援活動地域ボランティア（盛小2人配置）

	配置校数	活動人数	活動日数	合計活動時間	月平均活動時間
4月	1校	2人	2日	3時間00分	1時間30分/人
5月	1校	2人	2日	3時間00分	1時間30分/人
6月	1校	2人	5～6日	8時間15分	4時間8分/人
7月	1校	2人	4日	6時間00分	3時間00分/人
8月	1校	2人	1～2日	2時間15分	1時間8分/人
9月	1校	2人	7日	10時間30分	5時間15分/人
計				33時間00分	2時間45分/人

〔取組状況〕

- ・ 図書の修繕、図書室の環境整備、金管クラブの指導を実施。
- ・ 前年度まで図書支援活動地域ボランティアの配置がなかった日頃市小学校に、配置することができた。

〔今後の取組〕

- ・ 図書支援活動地域ボランティア研修会を、11月20日（月）に越喜来小学校で開催する。
 - ※ 要項30P
- ・ 研修会の受講者を対象にアンケート調査を実施する。
 - ※ 内容：研修内容の満足度、今後の活動に生かせるか等

令和5年度地域学校協働本部事業

スクールガード、地域コーディネーター及び地域ボランティア配置状況一覧

【令和5年11月15日現在】

(単位:人)

学校名	スクールガード		地域コーディネーター		図書支援ボランティア		金管指導ボランティア		備考
	R5	前年度比	R5	前年度比	R5	前年度比	R5	前年度比	
盛小学校	4	△2	1	1	1	-	2	-	SG1人謝金辞退 金管B2人謝金辞退
大船渡小学校	4	-	1	1	2	-	0	-	
末崎小学校	3	-	1	-	0	-	0	-	
赤崎小学校	2	-	1	-	2	-	0	-	
猪川小学校	1	-	0	-	4	-	0	-	
立根小学校	2	-	1	-	2	1	0	-	
日頃市小学校	3	2	1	-	1	1	0	-	
大船渡北小学校	3	△1	1	1	4	-	0	-	
綾里小学校	3	-	1	1	3	3	0	-	
越喜来小学校	0	-	1	1	2	-	0	-	図書B1人謝金辞退
吉浜小学校	10	3	1	-	1	-	0	-	SG1人謝金辞退
第一中学校	0	-	0	-	4	-	0	-	
大船渡中学校	3	-	0	-	4	-	0	-	
末崎中学校	0	-	0	-	3	-	0	-	
東朋中学校	0	-	1	-	2	-	0	-	
生涯学習課			1	-					
合計	38	2	11	5	35	5	2	-	

※ 地域コーディネーター及び図書支援活動地域ボランティアは、複数校掛け持ちの方もいるため、延べ人数となります。

※ 地域コーディネーター登録人数：9人

※ 図書支援活動ボランティア登録人数：14人

※ 太字は6月23日からの変更点

令和5年度大船渡市地域学校協働本部事業「大船渡市学校支援事業」

地域コーディネーター交流会概要

1 目 的

大船渡市の地域学校協働本部事業実施にあたり、各校で活動している地域コーディネーターが、各校での取組・課題について情報共有することで、市内のネットワークの構築及び地域学校協働活動のより一層の充実を図る。

2 対 象 地域コーディネーター登録者

3 日 時 令和5年11月8日（水） 午後2時～午後3時

4 場 所 大船渡市役所 教育委員会会議室

5 内 容

(1) 開 会 (14:00～14:15)

生涯学習課長あいさつ、担当者紹介、自己紹介

(2) 交 流 会 (14:15～14:50)

各校の「業務の課題」と「解決策」についてグループワーク

※ 参加人数によりグループの人数を調整します

(3) 閉 会 (14:50～15:00)

質疑応答、アンケートの回答

6 持 ち 物

(1) 筆記用具

(2) 各学校の取組の現状写真等（行政担当者や他校の地域コーディネーターに質問がある場合）

7 申 込 み 10月30日（月）までに、参加申込書を下記申込先へ提出。

8 問 い 合 わ せ ・ 申 し 込 み 先

大船渡市協働まちづくり部生涯学習課 生涯学習係 松田

〒022-8501 大船渡市盛町字宇津野沢 15

TEL 0192-27-3111（内線277）

E-mail 007364@city.ofunato.iwate.jp ファクス 0192-27-8878

交流会の概要

1 自己紹介

氏名、担当校、地域コーディネーター（以下、地域C）になった理由について、1人ずつ自己紹介した。ほとんどが校長先生等に頼まれて引受けたとのこと。具体的な活動内容も分からず、大役を引受けたと思う一方、役に立てることがあればと活動しているとのこと。

2 交流（ペア）

日頃の「業務内容」、「業務の課題」、「解決策（交流会をとおしての感想や考えの変化）」についてペアで話し合った後、全体で1人ずつ発表した。

【業務内容】抜粋

- ・地区にある3つのサロンに、子どもたちの服が椅子に引っ掛からないよう座布団作成を依頼。
- ・マラソン大会開催の際に、交通指導役員を地域ごとに依頼して27人集めた。
- ・ワカメの芯抜き作業等、協力依頼の連絡。
- ・授業補助のボランティアの依頼及びボランティア募集に係るチラシの作成。
- ・地域交流できるサロンの開設。子どもを含む地域住民の参加を促す。
- ・ミシン学習のボランティア依頼をし、自分も補助に入る。

業務内容は、令和4年度と同様、学校運営協議会が設置される前から実施されていた行事の補助や学習ボランティアとの連絡調整が多かったが、サロンの開設等、新しい活動を開始する地域Cもいた。

自分は連絡調整しかなかったが、学校と地域を繋がり、支援の輪が広がったことが実感できて、嬉しかったという声もあった。

【課題（悩み）】抜粋

- ・具体的な地域Cの活動の方向性が分からない。
- ・学校から依頼されてから動くため、地域Cがどこまでアクションを起こしてよいか悩む。
- ・学校と地域のニーズの把握が難しい。
- ・自分の後継者がいない。
- ・ボランティアが補助した子どものエプロンは素晴らしい出来栄になるが、出来栄だけが子どもたちの評価になる訳ではなく、どこまで学習支援をするべきか悩む。

自分が動かなくても地域の方が協力的でほとんど活動しなくても大丈夫な状態であり、自分の役割やどのような活動をすればいいのか分からないという地域Cが一定数いた。

学校からの要請を待っている状態が多く、自分から企画して活動するべきか迷うという意見も一定数あった。

【解決策（交流をとおしての感想や考えの変化）】 抜粋

- ・定期的に学校に行くことで、学校の要望を聞きながらニーズの把握ができ、子どもたちや職員に顔を覚えてもらえるのが良いと思った。
- ・地域Cは、学校運営協議会委員として学校運営協議会に入っている。地域Cが1人歩きしないよう、地域Cの業務内容を、核である学校運営協議会で検討してほしいと感じた。
- ・学校運営協議会委員が家庭科の調理実習に参加する学校もあり、参考にした方がいいと思う。
- ・学校運営協議会の際に、学校がどの時期に何をするのか紙で渡してもらえれば、「この時期にこんなことしている、これは自分が手伝えるな」となる。
- ・学校は、地域Cに活動を依頼するのを遠慮しているように感じる。地域Cに係る研修会があると、参加を依頼されるが、地域Cだけでなく学校側も研修会に参加して、地域Cの活用法について学んだ方が良くと思う。学校の要望が分からなければ、地域Cが動くのは難しい。
- ・自分ができる範囲での活動が、学校支援の継続に繋がると、他の地域Cの話聞いて感じた。

定期的に学校に行き、学校が求めることを自分からキャッチしに行く地域Cがいたことで、今まで学校からの依頼後に活動していた地域Cの中には、自分の立ち位置について、考えの変化が見られた地域Cもいた。

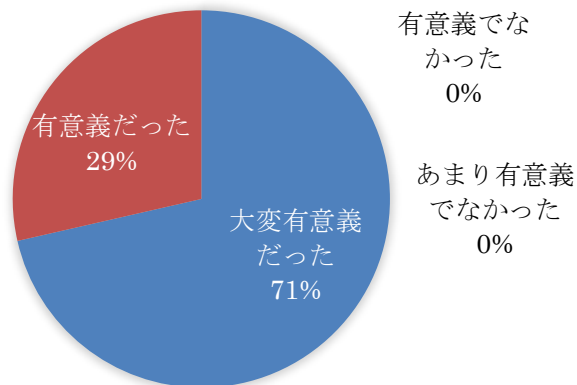
事務局からは、大船渡市は学校運営協議会が設置される前から地域の方の協力で行われてきた活動が多くあるため、地域C1人で全て企画する必要は全くないこと、これまでの活動に対して更に地域住民を巻き込み、より充実した学習支援に繋がってほしいこと、支援を継続するために無理のない範囲で活動してほしいことを説明。



アンケート調査の結果

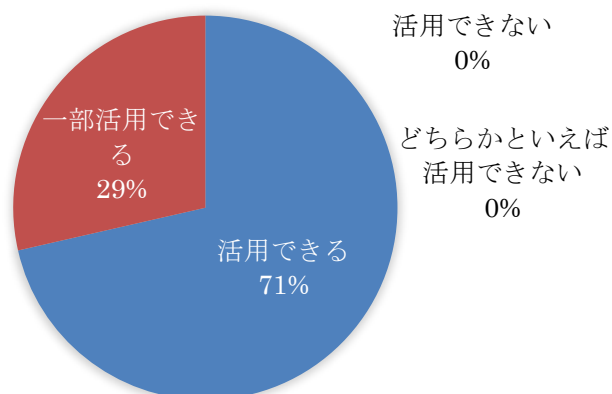
Q 1 交流会の評価

項目	人数	比率
大変有意義だった	5	71.0%
有意義だった	2	29.0%
あまり有意義でなかった	0	0.0%
有意義でなかった	0	0.0%
計	7	100.0%



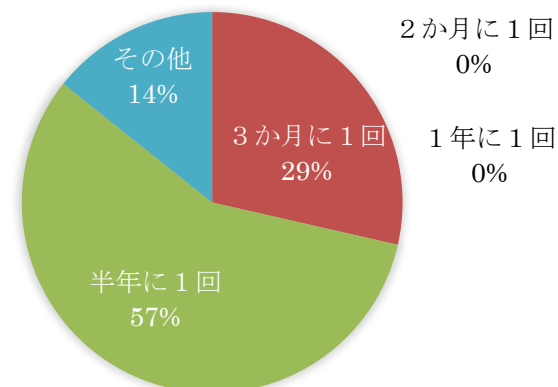
Q 2 今後の活動に活用できるか

項目	人数	比率
活用できる	5	71.0%
一部活用できる	2	29.0%
どちらかといえば活用できない	0	0.0%
活用できない	0	0.0%
計	7	100.0%



Q 3 交流会の開催頻度の希望

項目	人数	比率
2か月に1回	0	0.0%
3か月に1回	2	29.0%
半年に1回	4	57.0%
1年に1回	0	0.0%
その他（学期に1回）	1	14.0%
計	7	100.0%



Q 4 自由記載 抜粋

- ・少人数で具体的な話ができたので、良かった。内容・役割について共有していきたい。
- ・学校運営協議会との連携が大切であることを再認識した。気軽に話し合いができて良かった。
- ・色々な意見を聞くことができた。それでも方向性はよく分からない。
- ・模索しながらみんなやってるなあー大変さが伝わるが…もっと楽しく無理せずに。やれることを背伸びせずに…楽しくやりたいネ。
- ・各学校の地域Cの活動状況が分かり、とても有意義な時間でした。こういう機会を定期的に設けていただければありがたいです。ありがとうございました。

アンケート結果から、各校の実施状況や活動を実施する上での互いの悩みを話し合うことで課題解決の機会を得られ、より円滑な業務遂行の一助となったことが窺える。
地域Cの情報交流の場を、今後も定期的に設定することとする。

令和5年度大船渡市地域学校協働本部事業
図書支援活動地域ボランティア研修会開催要項

1 趣 旨

大船渡市の地域学校協働本部事業実施にあたり、図書支援活動地域ボランティアが専門知識を学ぶことにより、学校支援活動の充実を図る。

2 主 催 大船渡市

3 日 時 令和5年11月20日(月) 午後1時30分～午後3時30分

4 場 所 大船渡市立越喜来小学校 図書室

5 参加対象者

- (1) 図書支援活動地域ボランティア登録者
- (2) 図書支援活動地域ボランティア配置校 図書担当教諭

6 日 程

- 13:00 受付開始
- 13:30 開会行事
- 13:35 講演及び実演
- 15:30 閉会

7 講演及び実演

- (1) テーマ 「児童・生徒に本をつなぐ」
- (2) 内 容 ① 蔵書を生かした図書展示のつくりかた
② 情報交流

8 講 師 大船渡市立図書館 司書 中井 佳織 氏

9 持 ち 物

- (1) 筆記用具
- (2) 各学校の図書室の現状写真等(講師に質問がある場合)

10 申 込 み 11月13日(月)までに、参加申込書を下記申込先へ提出。

11 問い合わせ・申込先

大船渡市協働まちづくり部生涯学習課 生涯学習係 松田

〒022-8501 大船渡市盛町字宇津野沢 15

TEL 0192-27-3111 (内線 277)

E-mail 007364@city.ofunato.iwate.jp ファクス 0192-27-8878

1 大船渡市におけるコミュニティ・スクールの現状

令和4年度より、市内小・中学校に学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動を実施することで、地域と連携した学校づくりを目指している。

学校運営協議会委員は各校15人以内とし、令和5年度は10月31日現在、全15校で195人が委嘱を受けている。

令和5年度は、年度内に概ね3回程度協議会を開催することのほか、熟議を1回以上実施することを目標としている。

2 地域協働活動の例

【越喜来小学校：地域学校協働活動】

- ねらい
- ① 学校と地域で手を携え合いながらよりよい教育活動を目指す。
 - ② 地域の方々との協働活動を通して、新たな発見や驚きのある、より豊かな学びの実現を目指す。

じゃがいもの種植え



さつまいもの収穫



ゴム鉄砲づくり



潮目見学



- 成 果 ① 学校、家庭、地域の連携が深まった。
② 子どもたちの興味に応じて、学校だけでは得られない感動を得ることができた。
- 課 題 ① 日程の調整等、計画立案が難しい場面があった。
② 活動における子どもたちの学びが生かされるように、先生方の日頃の指導にも生かしていきたい。

【綾里小学校：令和5年度綾里小学校防災訓練】

- 日 時 令和5年11月2日（木） 午前9時15分～12時
- 場 所 綾里小学校校舎・体育館・校庭
- 講 師 大船渡消防署 綾里分遣所署員 大船渡市消防団第十分団
- 内 容 ① 防災講話及び通報訓練：体育館の火事を想定して実際に消防署に電話をかけ、消防署員の質問に答えた。
② 濃煙体験：家庭科室で濃煙を焚き、ハンカチで鼻、口を押さえ、姿勢を低くして進んだ。
③ ブラインド訓練：先生にも訓練の内容は知らせず、緊急時に近い形で訓練した。
④ 展示訓練：地元消防団が実際に消防操法を披露。児童もホースを持ち、放水をしたり、救急車、消防車に乗り込み、署員から説明を受けた。

学校運営協議会の話し合いの中で、令和4年度から実施が決定した。令和4年度は、綾里分遣所の署員を講師に全校で防災訓練を実施しており、今年度は初めて市消防団も協力した。小学校の子どもたちのため、消防署・地元の消防団と一緒に防災訓練を行うのは、市内はもちろん、県内でも例がない取組とのこと。

訓練に参加した団員には児童の父親たちおもり、声援も多く、児童たちが地域の方々から守られていることを自覚する機会にもなり、最後の講評では、「お父さんがかっこよかった」、「いつもありがとう」との感謝の言葉が述べられた。



濃煙体験



消防操法の実演



放水訓練



救急車の見学



講評で感謝の気持ちを伝える

